

エネルギー・環境の選択肢に関する討論型世論調査 討論前（T2）アンケート調査

Q.1 電力を含むエネルギーを選ぶ際に、重視する事柄についてお聞きします。

1から4の事柄について、あなたはどのくらい重視しますか。「もっとも重視しない」を0、「もっとも重視する」を10、「ちょうど中間」を5として、1つ選んでください。

	もっとも重視しない					ちょうど中間					もっとも重視する	意見がない
1. 安全の確保	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99
2. エネルギーの安定供給	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99
3. 地球温暖化防止	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99
4. コスト	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99

Q.1-2 電力を含むエネルギーを選ぶ際に、「安全の確保」「エネルギーの安定供給」「地球温暖化防止」「コスト」の4つのうち、重視することは何ですか。次の4つの事柄に1位から3位までの順位をつけてください。

A. 1番目に重視することは何ですか。

1. 安全の確保
2. エネルギーの安定供給
3. 地球温暖化防止
4. コスト
5. わからない

B. 2番目に重視することは何ですか。

1. 安全の確保
2. エネルギーの安定供給
3. 地球温暖化防止
4. コスト
5. わからない

C. 3番目に重視することは何ですか。

1. 安全の確保
2. エネルギーの安定供給
3. 地球温暖化防止
4. コスト
5. わからない

Q.2 今から18年後の2030年の原子力発電についてお聞きます。AからCの意見について、賛成ですか、反対ですか。それぞれについて、「強く反対する」を0、「強く賛成する」を10、「ちょうど中間」を5として、1つ選んでください。

A. 「すべての原子力発電所を2030年までに、なるべく早く廃止する」という意見について、「強く反対する」を0、「強く賛成する」を10、「ちょうど中間」を5として、1つ選んでください。

強く反対する					ちょうど中間					強く賛成する	意見がない
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99

B. 「原子力発電所を徐々に減らしていく(結果として2030年に電力量の15%程度になる)」という意見について、「強く反対する」を0、「強く賛成する」を10、「ちょうど中間」を5として、1つ選んでください。

強く反対する					ちょうど中間					強く賛成する	意見がない
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99

C. 「原子力発電所を今までよりも少ない水準で一定程度維持していく(結果として2030年に電力量の20~25%程度になる)」という意見について、「強く反対する」を0、「強く賛成する」を10、「ちょうど中間」を5として、1つ選んでください。

強く反対する					ちょうど中間					強く賛成する	意見がない
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99

Q.3 次のAからIまでのエネルギーや環境政策に関する意見や考え方について、お聞きます。

A. 「原子力発電の安全確保は難しいので、原子力発電は利用すべきではない」という意見があります。もう一方で、「原子力発電の安全確保は可能なので、原子力発電を利用し続けるべき」という意見があります。原子力を「利用すべきではない」を0、「利用し続けるべき」を10、「ちょうど中間」を5として、1つ選んでください。

利用すべきではない					ちょうど中間					利用し続けるべき	意見がない
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99

B. 「地球温暖化対策のためには、コストが高くなっても、再生可能エネルギーや省エネルギーを進めるべきだ」という意見があります。「強く反対する」を0、「強く賛成する」を10、「ちょうど中間」を5として、1つ選んでください。

強く反対する					ちょうど中間					強く賛成する	意見がない
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99

C. 「現在より生活が不便になったとしても、エネルギーや電力の使用量を大幅に減らすライフ・スタイルに変えるべきだ」という考え方があります。「全くそうは思わない」を0、「大いにそう思う」を10、「ちょうど中間」を5として、1つ選んでください。

全くそうは 思わない					ちょうど 中間					大いに そう思う	意見が ない
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99

D. 「核放射性物質の最終処分問題は将来の世代に影響を及ぼすので、原子力利用はできるだけ早くやめるべきである」という意見があります。「強く反対する」を0、「強く賛成する」を10、「ちょうど中間」を5として、1つ選んでください。

強く反対する					ちょうど 中間					強く賛成する	意見が ない
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99

E. 「国民はすでに省エネは十分行っている」という意見があります。もう一方で、「もっと省エネを行う余地は大いにある」という意見があります。「すでに十分行っている」を0、「最大限行うべきだ」を10、「ちょうど中間」を5として、1つ選んでください。

すでに十分 行っている					ちょうど 中間					最大限 行うべき	意見が ない
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99

F. 「日本の産業はすでに省エネは十分行っている」という意見があります。もう一方で、「もっと省エネを行う余地は大いにある」という意見があります。「すでに十分行っている」を0、「最大限行うべきだ」を10、「ちょうど中間」を5として、1つ選んでください。

すでに十分 行っている					ちょうど 中間					最大限 行うべき	意見が ない
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99

G. 「政府は太陽光や風力などの再生可能エネルギーの推進を十分行っている」という意見があります。もう一方で、「政府は太陽光や風力などの再生可能エネルギーを推進させるために最大限のことをすべきだ」という意見があります。「すでに十分行っている」という意見を0、「最大限のことをすべきだ」を10、「ちょうど中間」を5として、1つ選んでください。

すでに十分 行っている					ちょうど 中間					最大限の ことをすべきだ	意見が ない
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99

H. 「エネルギーは地域で解決すべき問題で、『地産地消』(地域で生産し、地域で消費をする)を目指すべきだ」という意見があります。もう一方で、「供給力の中心を大規模発電所とし、全国規模で計画・運用するほうが効率的だ」という意見があります。「地域で行うべき」を0、「全国規模で行う」を10、「ちょうど中間」を5として、1つ選んでください。

地域で行うべき					ちょうど中間						全国規模で行うべき	意見がない
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	

I. 「エネルギー政策の大胆な転換は、政府の責任で行うべきだ」という意見があります。もう一方で、「国民一人一人の覚悟と発想の転換こそが必要だ」という意見があります。「政府の責任で行うべき」を0、「国民の発想の転換が必要」を10とし、「ちょうど中間」を5として、1つ選んでください。

政府の責任で行うべき					ちょうど中間						国民の発想の転換が必要	意見がない
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	

Q.4 あなたは、2030年頃の日本が、電力を含むエネルギー全体の必要量を満たすために、次のエネルギー源をどのくらい使うべきだと思いますか。それぞれについて、「全く使わない」を0、「最大限使う」を10、「ちょうど中間」を5として、1つ選んでください。

	全く使わない					ちょうど中間						最大限使う	意見がない
a. 石油	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
b. 石炭	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
c. 天然ガス	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
d. 水力	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
e. 原子力	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
f. 太陽光	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
g. 風力	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
h. バイオマス	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
i. コージェネレーション	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
j. 地熱	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	

Q.5 電力を含むエネルギー問題について、次の情報はどのくらい信頼できますか。それぞれについて、「全く信頼できない」を0、「大いに信頼できる」を10、「ちょうど中間」を5として、1つ選んでください。

	全く信頼 できない					ちょうど 中間					大いに 信頼できる	意見が ない
a.政府の情報	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99
b.原子力問題専門家の 情報	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99
c.電力会社の情報	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99
d.マスコミの情報	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99
e. NPO や NGO の情報	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99
f.インターネット上 の情報	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99

Q.6 次にあげる考え方は、個人や社会にとって重要だと思いますか、重要でないと思いますか。それぞれについて、「全く重要でない」を0、「非常に重要である」を10、「ちょうど中間」を5として、1つ選んでください。

	全く重要でない					ちょうど中間						非常に重要である	意見がない
a. すべての人は機会が平等に与えられているべきだ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
b. 経済的には人間や企業が自由に競争することが望ましい	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
c. できるだけ失業率を低くすることだ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
d. 誰もが食料や住む場所などで苦しむことがないようにすべきだ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
e. できるだけたくさんのお金をかせげるようにすべきだ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
f. 自分がかせいだすべてをどうするかは自分で選べばよい	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
g. 所得や資産の格差を減らすべきだ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
h. 経済成長を促進すべきだ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
i. 子どもたちがよい教育を受けられるようにすべきだ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
j. 地域社会の安全を守るべきだ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	
k. すべての人が清潔な空気と水を手に入れられるようにすべきだ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99	

Q.7 次の考え方に対して、賛成ですか、反対ですか。それぞれについて、1つ選んでください。

	強く反対	ある程度 反対	どちらでも ない	ある程度 賛成	強く賛成	意見が ない
a. 政治家は私の考えていることを 気にかけている	1	2	3	4	5	99
b. ほとんどの公共政策は複雑な ので、庶民は何がどうなっているの か理解できない	1	2	3	4	5	99
c. 庶民は政府がやっていることに 口を出してもしょうがない	1	2	3	4	5	99
d. 私は耳を傾けてもらいたい意見 を持っている	1	2	3	4	5	99

Q.8 ここでお聞きしてきたような争点で、あなたと意見が異なる人のことを考えてみてください。これらの人
についての次の記述に、どのくらい賛成ですか、どのくらい反対ですか。

	強く反対					ちょうど 中間					強く賛成	意見が ない
a. 彼らは、問題がよく分 かかっていない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99
b. 彼らは、本当でないこ とを信じている	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99
c. 彼らは、問題を明瞭に 考えてはいない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99
d. 彼らには理屈がある。 ある側面についての理 屈はしっかりしている	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99
e. 彼らは、自分たちの利 益に関心を払っている	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	99

Q.9 ここでお聞きしてきたような争点で、あなたと意見が異なる人のことを考えてみてください。次の記述について、どのくらい賛成ですか、どのくらい反対ですか。

	強く反対	ある程度反対	どちらでもない	ある程度賛成	強く賛成	意見がない
a. たとえ意見が違っていても、私は彼らの見解を尊重する	1	2	3	4	5	99
b. 彼らとは意見の一致を見ることはありえない	1	2	3	4	5	99
c. 両者が支持できるような解決策を見つけるため、私は妥協をする用意がある	1	2	3	4	5	99

Q.10 次の A から F の事柄について、あなたは、どれが正しいと思いますか。1つ選んでください。

A. 震災前の 2010 年では、日本全体の電力は、原子力でどのくらいまかなわれていたと思いますか。次の中から、1つ選んでください。

1. 約 10%
2. 約 20%
3. 約 30%
4. 約 40%
5. 分からない

B. わが国は、京都議定書では、1990 年と比べて何%の温室効果ガスの削減義務があると思いますか。次の中から、1つ選んでください。

1. 6%
2. 16%
3. 26%
4. 36%
5. 分からない

C. 再生可能エネルギーの固定価格買取制度の対象にならないものは、何だと思いますか。次の中から、1つ選んでください。

1. 太陽光
2. 風力
3. バイオマス
4. コージェネレーション
5. 分からない

D. 次の中で、福島第一原子力発電所についての事故調査委員会が、実際には作られていないものはどれですか。次の中から、1つ選んでください。

1. 政府「事故調査委員会」
2. 国会「事故調査委員会」
3. 学術会議「事故調査委員会」
4. 民間「事故調査委員会」
5. 分からない

E. 日本のエネルギーの輸入量(原子力を含まない数字)はどのくらいですか。次の中から、1つ選んでください。

1. 66%
2. 76%
3. 86%
4. 96%
5. 分からない

F. 次の中で、わが国のエネルギー(第1次エネルギー)でもっとも多く使われているのはどれでしょうか(2009年時点)。次の中から、1つ選んでください。

1. 石油
2. 石炭
3. 天然ガス
4. 原子力
5. わからない

◆最後に、今回の調査結果を統計的な処理にかけるために、いくつかおうかがいします。

Q.11 あなたは、何年生まれですか。西暦_____年

あるいは(明治、大正、昭和、平成 ____年)

Q.12 あなたのご職業についてお聞きします。下表の左端にある1～6の番号の中から1つマルをつけてください。どれにあてはまるかわからない方は、「6」にマルをつけ、「その他」の欄にご職業をお書きください。

1	事務職	一般事務・営業・経理・総務・秘書など 公務員・教職員など
	専門・技術	お勤めの方で医師・弁護士・会計士などの有資格者 お勤めの方で専門職や技術職の方
	管理職	民間企業の課長職以上の方、管理的公務員 勤務医などの専門職で院長や部門長
2	製造	衣服・食品・機械・家などのものづくり
	販売	店員・保険などの外交員・不動産仲介など
	サービス	ホテル・飲食・理容・警備・清掃業など
3	自営	経営者、医師・弁護士・会計士などのうち自営の方 美術・芸能・スポーツなどに関わる自由業の方
4	農林漁業	農業・酪農・林業・園芸・漁業など
5	主婦	おもに専業主婦の方
6	無職	おもに年金生活の方 学生の方 特定の職についていない方
	その他	(記入欄)

Q.13 あなたは、現在、結婚されていますか。

1. 未婚
2. 既婚（配偶者あり）
3. 既婚（離別・死別）
4. その他

Q.14 同居の家族は何人ですか。_____人

Q.15 あなたの最終学歴を教えてください。

(在学中の方は、いま通っている学校を選んでください)

1. 小・中学校（または旧制高等小学校）
2. 高校（または旧制中学、高等女学校など）
3. 専門学校
4. 短大・高専
5. 大学
6. 大学院
7. その他

Q.16 あなたのお住まいは、次のうちどれですか。

1. 持ち家（一戸建て）
2. 持ち家（マンション・アパートなどの集合住宅）
3. 賃貸住宅・社宅（一戸建て）
4. 賃貸住宅・社宅（マンション・アパートなどの集合住宅）
5. その他（記入欄→） _____

Q.17 あなたの生活水準は、次の中ではどこに入るとお思いますか。

1	2	3	4	5	6	7
上の上	上の下	中の上	中の中	中の下	下の上	下の下

Q.18 ご自分の家の中で、あなたが電話で人と話すときには、「ご家庭の固定電話」と「携帯電話」のどちらをおもに利用していますか。あなたの利用状況にもっとも近いものを、1つ選んでください。

1. 携帯電話しか利用していない
2. ほとんど携帯電話を利用し、まれに固定電話を利用する
3. どちらかといえば携帯電話の利用が多い
4. どちらかといえば固定電話の利用が多い
5. ほとんど固定電話を利用し、まれに携帯電話を利用する
6. 固定電話しか利用していない
7. その他（記入欄→） _____

Q.19 あなたは、インターネットを使っていますか。

1. 使っていない
2. 月に数回使う
3. 週に数回使う
4. 毎日1時間程度使う
5. 毎日2時間程度使う
6. 毎日3時間以上使う
7. その他 (記入欄→) _____

以上で、アンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。